

令和4年度第1回 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会 会議録

- 1 開催日時 令和5年3月20日（月） 午後2時～午後3時10分
- 2 開催場所 花巻市石鳥谷町八幡第4地割161番地
花巻市石鳥谷総合支所 中会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 5名
中村良幸委員長（花巻市文化財保護審議会委員）
中嶋奈津子副委員長（佛教大学非常勤講師、日本民俗学会会員）
川向富貴子委員（岩手県立博物館専門学芸員）
吉田隆一委員（早池峰大償流土沢神楽保存会長）
小原伸博委員（花巻市博物館学芸係長兼市史編さん室上席主査）
 - (2) オブザーバー 3名
吉田純子 文化庁文化財第一課芸能部門主任調査官
須川 翼 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課文化財調査員
小田拓美 早池峰岳流石鳩岡神楽保存会副会長
 - (3) 事務局（教育部文化財課）3名
鈴森直明課長、伊藤真紀子課長補佐、里館いづみ主任
- 4 議 題
 - (1) 令和4年度事業報告について
 - (2) 令和5年度事業計画（案）について
 - (3) その他

5 議 事 録

- (1) 開会（進行：鈴森直明課長）
- (2) 挨拶
（鈴森課長）

ただいまより「令和4年度第1回記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会」を開会いたします。

私、本日の委員会の進行を務めます文化財課の鈴森と申します。どうぞよろしくお願ひします。次第に沿って進めさせていただきます。

石鳩岡神楽・土沢神楽につきましては、平成23年に国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択され、その後、基礎調査それから詳細調査を実施しております。令和2年度から文化庁の補助もいただきながら、映像記録に着手しているという状況でございます。令和3年度につきましてはあいにくコロナということもございまして、撮影が中断したということから1年間延長いたしまして、来年度、令和5年度での完成を目指しているというような状況でございます。

本日は今年度初めての調査委員会の開催ということで、この後、委員長、それから副委員長の選任をしていただきます。そして今年度の事業報告と来年度の事業計画を委員の皆様方にお諮りしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

(3) 委員長、副委員長の選任

(鈴木課長)

それでは次第の3番でございます。委員長、副委員長の選任ということで、もし差し支えなければ事務局案をご提案申し上げてよろしいでしょうか？では事務局案といたしまして委員長には中村良幸さん、それから副委員長には中嶋奈津子さんに再任をお願いしたいというようにご提案いたしますけれども、皆様方ご承認いただけますでしょうか？

(委員から異議なし)

それでは委員長の中村さんには委員長席の方へご移動をお願いいたします。

ここからの進行につきましては、委員会設置要綱の第4条第2項により委員長に会議の議長をお願いいたします。中村委員長の方から少しご挨拶をいただきながら議事の進行の方をよろしくお願いしたいと思います。

すいません、私先ほど一つ忘れておりました。本日の委員会には文化庁の吉田主任調査官にオブザーバーとして参加していただいております。それからあわせて、岩手県教育委員会からは須川文化財調査員がご出席いただいておりますのでこの場をお借りしまして皆さん方にご紹介いたします。どうぞよろしくお願いしたいと思います。それから本日は石鳩岡神楽の保存会長さんがご欠席ということで副会長の小田拓美さんにご出席いただいておりますので、皆様方にご紹介させていただきます。前後して申し訳ございませんでした。それでは中村委員長の方にバトンタッチいたします。

(3) 報告・協議（議長：中村委員長）

(中村委員長)

事務局より説明をお願いします。

(伊藤課長補佐)

はい。皆様、本日はありがとうございます。事務局の紹介をいたします。私、課長補佐の伊藤、それから主任の里館でございます。どうぞ本日はよろしくをお願いいたします。座って説明させていただきます。

まず、本日の資料の確認をさせていただきます。委員名簿と設置要綱がありまして、その次に令和4年度石鳩岡神楽・土沢神楽伝承活用等事業報告。そして、その次に石鳩岡神楽・土沢神楽伝承・活用等事業計画書。そして、本日追加の資料として表になってございます令和4年度までの演目の撮影実績ということで本日の資料、3種類となっております。ご確認くださいませ。

それではまず、(1) 令和4年度の事業報告についてご説明いたします。令和4年度記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財石鳩岡神楽・土沢神楽伝承活用等事業報告資料で説明をさせていただきます。今年度事業の実績としまして令和2年度から撮影記録開始してございますが、令和4年度は3年目の事業を実施してございます。東北文化財映像研究所に映像記録の撮影業務を委託しておりまして、石鳩岡神楽については演目が7件、習俗が2件。土沢神楽に関しましては演目が4件、習俗2件の撮影を実施しているところです。これにつきましては成果品としてDVDと映像記録が入ったハードディスクが納品になるところです。

3年映像を撮り溜めてきているのですけれども、昨年度に関しましてはコロナの影響で撮影記録の活動が途中で実施できないということで、途中で撮影記録をストップしているという状況がございます。実質2.5年ということで撮影記録を現在しているところでございますが、この事業に関しましては令和5年度を最終年度としております。当初の計画ですと令和5年度で、令和4年度までに撮影できなかった残りの演目を収録を行い、それから記録DVD等の作成をもって映像記録の撮影事業というのは終了という予定となっております。本年度につきましては以上の内容ということで報告をさせていただきます。以上です。

(吉田委員)

すいません、1件訂正をお願いいたします。資料1ページの石鳩岡神楽さんの演目収録の5番ですけれども、収録場所が古民家神楽鑑賞会の。これは土沢神楽の演目です。

(伊藤課長補佐)

すいません。はいそうですね、土沢神楽ですね。転記を間違えました。これが土沢神楽です。すいません。そうなりますと石鳩岡神楽の演目は6件、土沢

神楽は5件となりますので資料の訂正をすいませんがよろしくお願いいたします。

(中村委員長)

はい、あとございますでしょうか？

結局、今まで収録したっていうのは結果的にはこの1枚ものの、これに反映されていることですか？

(伊藤課長補佐)

はい、今日追加した資料ですけれども令和2年度からの収録が終わっている演目ごとに並べたものです。この表に演目として記載されていますのは、事業開始の令和2年度のときに両神楽さんに演目一覧ということでご提供いただいたものなのですけれども、撮影日の欄に例えば古峯神社例大祭ですとか記入されているものが収録済みのものです。松迎舞とか裏三番叟など空欄になっているのはまだ収録ができていないというものになります。各両神楽さんとも挙げていただいた演目数が43演目なのですけれども、石鳩岡さんについては23演目、土沢さんについては16演目が撮影済みということになっております。

(中村委員長)

勘違いしていました。丸がついたのは収録したのじゃなくて、横に書いてある文字の方が収録したのですね。

(伊藤課長補佐)

はい、そうです。

(中村委員長)

すごく進んだなと思っていました。はい、わかりました。あと、ご質問ご意見は？はい。

(吉田調査官)

すいません、お久しぶりでございます。ちょっと私も当初の撮影の考えというか、方針が曖昧になっているところがございますして一度確認といいますか、もう1回ちょっと教えていただければというふうに思っております。

まず43演目のリストについてなんですけど、丸印がついてない演目というのはこれはどういう演目になりますでしょうか？2枚目の裏側に丸ですとか休みだとか現行せずとか入ってない演目がございますが、これはどのような演目になるかを教えていただければと思いました。

はい、やってないのですね。抜きまして43演目ということになりますでしょうか？それで、今回の映像ではまず演目ごとに全演目を収録していくという、そういう方針だったということでもよろしかったでしょうか？

(伊藤課長補佐)

はい、可能な限り全演目ということで計画を立てていたところです。

(吉田調査官)

これまでに撮影された映像を拝見することもできずにコロナということもあり、ここまできたわけですけれども、その映像の制作の内容というのはどちらかという今後の傳承に資するような、次の方がその舞を見てお稽古というか習うことができるというような映像を目指して撮影されたという、そういう理解でよかったですでしょうか？また、いろいろ祭礼で行われたり全国民俗芸能大会で行われたりですとか、いろいろな機会を捉えて演じていらっしゃるところの収録というふうになっていますので、どこかでまた収録された映像を保存会の皆さんは既にご覧になっていらっしゃいますか？まだ一つもご覧になってないような感じですか。何か早い段階でと言ってももう来年度で終わりなのですけれども、ちょっとその撮られた映像を試写する機会みたいなものがあって、また、その来年度で一応事業は終わりですけれども保存会の皆さんが、いやこういうところについて、こういうところを撮っていただけるといいんだけど、みたいな意見を保存会の皆さんもおっしゃっていただいて、先生方もこの演目はこういうところも撮った方がいいんじゃないとか、何かそういう出来上がったものに対して意見を言い合って、また次の映像の収録に迎えるような何かそういう機会があったらいいのではないかなというふうにちょっと思いました。

と言ってもですね、結構まだまだ撮り残しがいっぱいあるものですから事業も来年度で終わりということで、ちょっとなんとなくこれを見ますと日程的には全演目の収録はなかなか厳しいような気もいたしますので、来年度に向けてどういう方針で撮影をされていくのかというのはご検討いただけるとありがたいなというふうに思っております。以上です。ありがとうございます。

(中村委員長)

大変どうもありがとうございました。非常に貴重なご意見で、来年度に向けてですね、これはやはり考えていかなければいけない問題だと思います。考えてみますと半分ぐらい残っていることになりますので、これから令和5年度の事業に向けましてどのような撮影の仕方とか、どのような方法でやっていくかということが大事になってくると思いますので、今の吉田調査官の意見も入れながらですね、ビデオを見て本当に残すというかこのまま残していいのか、あ

るいは撮り直しするのかということも含めて検討していかなきゃいけないなどというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと申します。

それでは令和4年度の報告、一番大事なのは5年度の方ですね、事業計画の方がおそらく大事になってくると思ひますので、令和4年度の報告については何かまだありますでしょうか？何かありませんか？ありますか。

はい。それではそういうのも含めまして、令和5年度の計画の方で事務局の方からお話をいただければというふうに思ひます。それでは(2)の令和5年度の事業計画案について事務局の方からご説明をお願ひします。

(伊藤課長補佐)

はい。(2)の令和5年度事業計画案でございます。来年度で映像記録事業が終了という予定になってございます。ということで令和5年度につきましては撮影業務1件、もう一つは撮影したものをDVDにまとめて公開活用するという2本立ての事業になります。

撮影記録に関しては、当初の予定では令和4年までに撮りきれなかった残りの数演目というような想定をしてございましたが、先ほどからお話しております通り半分以上まだ撮れていないというのが現状でございます。あと1年で、この20演目撮れるのかっていうとちょっと現実的にどうかなというところがありますので、ちょっとその取捨、どれを選ぶのかというような作業が必要になってくるのではないかと申ひしております。

その撮影記録の事業と並行しまして普及用のDVD、石鳩岡バージョン、土沢バージョンということで1本のDVD、40分ずつになろうかと思ひますけれども、まとめたものを作成して県内の主な施設、図書館等の方に配布を考えております。また、あわせましてダイジェスト版が5分から10分だと思ひますけれども、こういったものを作成いたしましてホームページ等で広く皆さんにご紹介できるような、PR用の映像というのもあわせて作成という予定となっております。令和5年の事業について主な内容としてはこうなのですが、では一体この残りの演目をどうしようかというところを、ちょっと皆さんで今日は考えていただきたいなと思ひて資料を提供させていただいたところで、以上です。

(中村委員長)

はい、ちょっと間が空いてわからないところあったんですけど、令和5年度にDVDを2団体分とハードディスク1個って、これは全部まとめたやつじゃなくて令和5年度分だけっていうこと？

(伊藤課長補佐)

全部まとめたものです。はい。記録としてはその40分にまとまらないくらい全部の膨大な時間のデータがありますので、それはいったん納品していただくと。その中から配布用としてDVDを作成というイメージです。

全記録を保持しているのは花巻市教育委員会で、全記録データは保持しております。そして県内図書館等に普及用といいますか、あの石鳩岡DVD、土沢DVDというのを作成して配布するというイメージです。

(中村委員長)

ということは、普及用は300枚作るけれども他の団体の分は数が少なくですね、何枚か分しか作らないということですね。あの、いわゆる普及版の40分のは300枚作りますけど、他は何も書いてないのでいくつぐらい作るのかなという・・・。

(伊藤課長補佐)

DVDは300枚作ります。

(中村委員長)

普及用でしょ、それは。じゃなくて、全部収録したやつとかそれはいくぐらい作る予定なのですか？

(伊藤課長補佐)

一応、記録用にはハードディスクで残しておきます。後は必要に応じてDVDに焼くという感じですね。

(中村委員長)

はい、わかりました。ちょっとDVDとして多めにあった方がよいような気がします。

はい、吉田さん。

(吉田調査官)

令和4年までの映像記録はどのような形で納品されていますか？そして、DVD中の演目の説明についてはどのようにされますでしょうか。ナレーションとかで説明するのか、文字で説明するのか教えていただきたいです。

(伊藤課長補佐)

今、ハードディスクとDVDと2バージョンあります。DVDは差し上げます。はい、そうです。はい、ナレーションまでは考えてないですね。テロップ

ですね、はい。

(吉田調査官)

一般の方々が土沢神楽なり、石鳩岡神楽なり、あるいはそれが伝承されている地域の事なりを興味持って見た結果、興味を持ってくださるような内容でないといけないと思いますので、単に短くするというよりはある程度構成というか、ストーリーを考えていく必要があると思うので、やっぱりその辺の構成などはこの委員会で先生方のご意見なども頂戴しながら構成案をおつくりいただければ、まあ、もちろん阿部さんのところのいろいろご意見なども伺いつつですね、委託の業者さんと阿部さんのところと先生方と保存会さんのご意見なども伺いながら、普及用のDVDの構成はおつくりいただけるのではないかなというふうに思いました。すいません、事実関係わかりました。ありがとうございます

(中村委員長)

はい、ありがとうございました。ちょっとこの辺を、もうちょっと整理しないとなかなかあれだと思いますけれども、とにかく今見た限りでは石鳩岡さんが43分の23ということで半分ちょっといっていますけれども、土沢さんが43分の16ということで半分以下になっていますのでこれは相当厳しい、収録するにしてもかなり厳しい状況にあると思いますけれども、まあ、この1年間でこれ全部は多分収録は難しいのだろうという気はしますので、私達が考えるよりは神楽さんの方でこれだけはぜひ残しておきたいとか、これだけは記録しておきたいというような演目を挙げてもらってそれを中心として進めるのが一番ベストだと思うのですが、その辺はいかがなのでしょう？ どうでしょう、土沢の吉田さん。

(吉田委員)

はい、おっしゃる通りかなり厳しいので、やはり土沢の場合はあまりやっていないので今後のために残したいものを中心に演目を選定して記録したいと思っています。通常やれるものであれば、以前にもビデオを撮っているものもあるのでそういうものを今回は省いていく。あまりやっていないのを記録したいなと思っています。

(中村委員長)

どうですか？小田さん。

(小田拓美オブザーバー)

代理で申し訳ないですが、今ぱっとこれを見たらですね、私初めてだからわからないですけど、スルーしているのがいっぱいあるんですよ。やっているのに撮らさっていないなって。これは、こっちからこういうのをやるから来て下さいって言うものなのか。それともたまたま撮る人が来たときに、あつたのだけ撮っているっていうものなのか、どっちです？

(伊藤課長補佐)

年間の計画で、いつ何をやるのでっていうのを聞いて撮りに行ってもらう計画を立てていたんですけども情報を出して頂ければ、ある程度事前に出していただいたものでないと、うちも映像を撮る阿部さんの方に情報提供してないところが結構ありますので、そういった感じでやったけど撮られてないというのがあるんだと思います。

(小田拓美オブザーバー)

これ見ると確かに撮りに来なければ撮れないものもあるけど、何回もやっているのに撮ってないものもあるんですよ。で、私達は特にね今度はあれやりましょう、これやりましょうっていうのはこれに基づいてやっているんですよ。あれ撮ってないから、あれやるべという。ところが、何回もやっているのに撮らさってねっていうのがね。俺たちの頼みようが悪いのか、おたくたちの気づきようが悪いのかわからないけれども、その辺をもうちょっと、ぼしっと整理すればもっとこの一年効率いいと思いますよ。

我々で大体、例えば今年の秋遠くでやるときは「鐘巻」やりましょうとか、もう大体これ撮らせようと、言葉悪いけど、撮ってもらおうという計画のもとにやっているのだけでも、その連絡がしっかりこういう場合は1ヶ月前に言ってけろとか、年間でわかるんだったら年間にこういうとこでやるから、これこれの舞をやる予定だという書き込みして出してくれとか、何かそういうもうちょっとね、一年で収める努力を私達もするから事務局の方でもしてもらわないと。撮った分だけでいいのよみたいな感じなら最初からね、我々も無理しないんだけれども、極力合わせようとしているもんだから。わかりますか？お願いします。

(中村委員長)

はい、それは非常に大事なことで、そういうことであれば、あれなんですけど、私も三番叟とかいろいろ抜けているので、これなんかいつもやってんだろなという気はしていましたけど。多分ですね、行事だけの例えば祭礼だけの今見ていると公演とかそればかりのやつを撮っていますので、おそらく、例えばみちのく神楽大会だって1演目しかやらないわけですし、なかなか回数を

重ねて撮るわりには効率は非常に悪くなっていますんで。やはり最終的には土沢さんと石鳩岡さんにそれぞれ別の会場を設定してもらって、撮れてない演目をそこで何演目かを踊ってもらうっていう形で収録していかないと多分、祭礼だけを追っかけてったら多分撮りきれないと思いますし、普通に祭礼やれば式舞とかは最初にやんなきゃいけないっていうのがあって、なかなかこっちの方の舞はやらなくなってしまったりしますので。やはり何日かはですね土沢さんと石鳩岡さん、それぞれで日を取ってもらってですね、やっぱり何演目かずつ踊ってもらうということで収録していかないと、これは多分、数はこなせないと思いますし、思惑通りなかなか撮られていかないのかなという気はします。その辺は事務局の方と神楽団体保存会の方で相談しながらですね、そういう日程を早めに詰めてもらって、計画を立てていただくのがやっぱり数多く収録できることだと思いますので、その辺はぜひよろしくお願ひしたいと思ひますけれども。いかがでしょうか？

(吉田委員)

すいません、委員長のお話に賛成で、実は一度だけ撮影する方の都合もありまして同じ会場で石鳩岡さんと土沢で、合同で1回だけ撮ったことがあります。で、コロナの関係でちょっとそれがストップになってそれぞれの祭礼ということだったので、撮影する方のスタンバイ、設置の関係もあるので同じ場所でやっていただいた方が撮る方は都合がいいということで、うちの方も全部自分たちの団体だけでずっとやるのも大変なので2、3演目ずつ交代にやったのですが、その方がお互いにやりやすかったのが先ほどの委員長さんのお話のような感じでやっていただければいいのかなと思います。

(中村委員長)

あの、小田さん、そういう形で進めて大丈夫ですか？うん、ですから先ほども言いましたけれども、こういう演目をやっぱり残しておきたいとか記録しておきたいというのをまず各神楽さんに挙げてもらってですね、それをうまく組み合わせて日程調整しながら、そのときに撮影してもらうという方式をとっていったらいいのではないかなというふうに思ひます。今、ここで何々っていうのはなかなかすぐには出ないかもしれませんが、事務局さんの方でそれを聞いてもらって阿部さんとかと調整しながらそういう日を何日か、その何日かといってもいっぱい取れないと思ひますけれども、何回か取っていただひいて収録が進むようにぜひ進めていただひきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。あと何か令和5年度の計画についてご意見ござひますか？中嶋さん。

(中嶋副委員長)

はい。今お話を伺った通りなのですけど、去年まではコロナもあってしょうがないとはいっても撮影されている期間っていうのがまとまった期間になっているんですよね。土沢さんの場合は7月9月11月。石鳩岡さんの場合は5、6、7、9、10、11月って、やっぱりあの祭礼・行事を追うとこういうふうになるのかなと思うので、もうちょっと本当に1年撮り続けるようなスケジュールを、わざわざ撮影するためのスケジュールというのを作らないとならないというのと、あと大事なのは皆さんお仕事なさっているんで、人数が集まらないから撮れないっていう事情も出てくると思うのですね。なので、会長さん方にはなるべく舞手の方々が集まれる時期というのを早めに押さえていただいた方がいいのかなというふうに思います。お得意な演目もたくさんおありとは思いますが、今年に限ってはさつき拓美さんがおっしゃってくださったように撮ってないものを優先して撮っていただく、舞っていただく、それを撮らせていただくというような工夫が必要となると、結構持久戦になるのかなというふうに思います。

あと、習俗の撮影に関しては、習俗ですので何かしら簡単な説明が入った方がいいのかなというふうに思います。それは必ずしもナレーションというのではなく、何か記載したものをDVDケースに入れるとかそういう形もありかなと思います。八戸だと神楽も、やっぱりいろんな神楽さんのを撮って普及版として東北の図書館なんかに入れてくださるんですね。レンタル用で。それにはナレーションを入れているものもあるけれども、ナレーションなしで撮り流したものに説明書きの1枚の紙を入れておくというようなパターンもございましたので、参考までにお話させていただきます。以上です。

(中村委員長)

はいありがとうございます。やはり習俗の関係は説明がないとわからないかもしれませんので、テロップだけではなくて例えば付属で紙というか、説明をちょっとつけてやるというだけでもだいぶ違うと思いますので、そういうこともちょっと考えていただければというふうに思います。

それで、見ていますと習俗の撮影って、これ以上何か要りますかっていう、変な聞き方ですけども……。あの、神楽の方々に聞きたいのですけど、どれかは絶対入れなければいけないっていうのを、まあ、石鳩岡さんは結構数を撮っていますので。なんか、これ全部撮ったら大変なことになると思っていますので、やはりこの辺も是非これはっていうのがありましたら、やはりそれに絞って撮られたらいかがかなという気はしています。全部追っかけて待っているわけにもいきませんので、歳祝いとかですね、新築祝いもなかなかそう上手く日程調整できるわけではないと思いますので、この辺は少し絞って考えてもいいのかなというふうに思います。こっちに縛られると多分演目の方の収録がなか

なか難しいかなという気がしますので、やはり重点的には神楽さんたちと相談しながらやっぱり収録する日をちゃんと決めて撮った方がいいのかなという気はします。それが令和5年度の一番重要なところかなという気はします。

どなたか、あとご意見ございますでしょうか？はい。

(須川文化財調査員)

岩手県の須川と申します。前回の対面で実施された委員会の復命をちょっと今見ていたのですが、DVDにチャプターを付けて後で見返したときに何の演目なのかとか、何をやっているのかというのがわかった方がいいというようなご意見があったので、これから全てのデータをまとめてということでまだ間に合うかなと思いますので、このあたりもちょっと配慮いただきたいというふうに思いました。いずれ、委員長からもご意見ありましたけどもなかなかできたもののイメージが湧かないので、試作品なんかを一度皆さんに見ていただくような機会があってもいいのかなと思いました。こちらも併せて検討いただければと思います。以上です。

(中村委員長)

はい、ありがとうございます。チャプターの件はそういえば前に出た記憶がありますけど、やはりそれがあれば検索というか、すぐ探すことができますのでそれは多分DVDの編集の段階でお願いしていけばできることだと思いますので、それをぜひお願いしていただきたいというふうに思います。あと、ちょっとさっきからDVDのあれなのですが、演目をです、例えば今のところ見られるのは普及版の40分しか、見たい人は見られないということですが、何とか図書館でもあるいは何かでも検索したら演目が最初から最後まで見られるようなことをちょっと考えた方がいいのかなという気はします。ダイジェスト版ばかりであればですけど、ダイジェスト版を見て、最初から最後まで見てみたいという人がいたら何とか見られるようにですね。ただ文化財課にしかないとなると何ともならないので、例えば図書館なら図書館でも4館ありますのでそこに置いてやれるような形をとってもいいのかなという気はしていますので、その辺もちょっと考えていただければというふうに思います。あとはございますでしょうか？はい。川向さん。

(川向委員)

成果品であるDVDとハードディスクですが、配布しないものといえますか原本となるものはあくまでも花巻市の教育委員会で保管していく。それでファイルとか媒体とかが変更しなければならない場合には随時、市の教育委員会の方で行っていくということになりますか？うちも岩手県の教育委員会から流れ

てきた芸能関係の映像がたくさんあるのですけれども、オープンリールから始まり、ベーターのテープ、VHS、DVD、ブルーレイ、その都度その都度媒体変更をしているのですが、結構な費用と時間がかかるのでチャプターも入れたりすると結構な手間にもなるので、これから先そういった媒体変更とかそういったものは花巻市の教育委員会さんの方で末永くやっていく予定でおられるということでしょうか？

(伊藤課長補佐)

確かに昔の映像がもう今、機械がないので見られないみたいなのはよくありがちで、昔のビデオのテープがあるのだけど最近使っていないみたいなテープは教育委員会の中にもあります。それらを徐々に今時の仕様に変換していくっていうのは必要なのですが、これについても定期的に行わなければならないと思うのですがなかなかちょっとそこまで手が回っていないという状況です。貴重な記録なので、予算化するなどして今後更新かける必要があると思っております。

(中村委員長)

はい、あとはなにか。吉田調査官さん何かございますか？私もちょっと間が空いたので、もう前に何を言っていたのかちょっとあれなのですけれども、実際にはやはり確か演目をできる限り収録するっていうような話はずっとしたような気がしますので、それに向けてですね、ぜひ進めていただきたいというふうには思います。何かあとございますか？はい。

(中嶋委員)

習俗はさておき演目、もし、もし万が一、年度内に目標を達成できなかったっていう状況があった場合はどのような扱いに、撮れるところまでで記録を作成するっていうような形になるのでしょうか？そこを伺いたいと思っております。

(伊藤課長補佐)

とりあえず事業終了ですので、撮れるところで一旦終了させていただきます。残って、どうしても撮りたいとなればまた次年度以降に、特別にあと数演目だけ撮りましょうかというようなことになるかと思っておりますけれども、令和5年度でこの事業については一旦終了させていただきます。

(中村委員長)

はい、あとはございますか？何か土沢の吉田さんとか何かご意見あります

か？拓美さん何かありますか？はい。ということで神楽の人たちは、はい、はいどうぞ。

(川向委員)

失礼いたします。多分まだこれから撮らないといけない演目も結構残っていると思いますので、かなり令和5年度は結構いっぱい使って演目収録というのをきつとしていくことになるのかなというふうに思っています。演目収録については、やっぱり早い時期にこれまでに撮ったものを一度保存会の皆様にはご覧いただく機会をお考えいただけるといいのじゃないかなというふうに思っています。というのはこれまでに撮影された機会がまちまちですので、舞台上での公演もあれば地元でのあの奉納ということもあって、そういう中でこの映像の目的を達する絵になっているのかどうかというところは一度確認をいただいて、もし大事な演目の中でもう1回ここはちゃんと収録のための機会を作って、もう1回撮らないといけないというものももしかしたらあるかもしれないので、そういうご覧いただく機会というのを早めにお考えいただきたいなというふうに思っています。

それからその演目収録で多分時間が大変かかるだろうというところに、その普及用DVDを作るという作業もまた出てくると。さらにその習俗の解説を付すような何かそういったものも作る。あるいは普及用DVDにも何か加えてそういう解説文みたいなのを付けるようなことをあるかもしれないとすると、かなりこの令和5年度の予定というのがタイトなものになってくるのじゃないかなという気がしていますので、一度お手数ですが事務局の方で令和5年度の作業工程みたいなもののスケジュールを一度整理されて、保存会の皆様、先生方それから東北映像研究所の阿部さんと共有して無理のない、でもやるべきことができるようなスケジュール案というのを皆さんの間でまずは確認をしていただけるとよろしいのではないかなというふうに感じました。またこの委員会の中で例えば普及用DVDも一旦、仮版をみんなで見てください。ここはこうだこうだって、こういう映像があったらどうかみたいなことを言い合えるような場というのもお考えいただいた方が、もしかしたらいいかなというふうに思っております。以上です。ありがとうございます。

(中村委員長)

はい。あの、これ、年度で収録したのはDVDで納品されているのですか？

(伊藤課長補佐)

はい、年度ごとにあります。

(中村委員長)

それであればですね、それを土沢さんと石鳩岡さんにダビングしてもいいので、お渡しして機会があったときに見てもらってというのがいいのかなど。全部見たら長いので、年度ごとのものがもし収録されているのがあったらそれをお渡しして見ていただくということでいかがでしょうかね。なかなかずっと最後まで見たりするのは大変かもしれないですけど、一応見ていただいて、やっぱりこの演目はちょっと残すとまずいなというのがあるのかもしれないんですけど、そういうのをちょっとチェックしてもらっただけでもいいのかなという気はしますので、それをぜひお願いしたいなというふうに思いますし、確かに40分の成果品の普及版はやっぱりみんなで見えてチェックした方がいいのかなという気はします。確かにその辺時間とればだと思えますけども、やっぱりなるべく時間をとっていただいて仮のやつが出てきた段階でちょっと見て40分であればこういう会場でも見られますので、それでちょっとチェックしてやれる時間をとっていただきたいなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(伊藤課長補佐)

そうですね、令和5年はちょっと委員会の回数を増やして3回やろうと思っています。年度が明けたらまずちょっと年間スケジュールの話も出ましたので、両神楽さんともちょっと打ち合わせしながら年間のスケジュールを立てて、いつ頃収録できるのかみたいなどころまでお示ししたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

(中村委員長)

はい。あとは何かございますでしょうか？やはり何回も言うのですが重要なのは、やっぱり日程調整しながらビデオ収録する日をきちっと決めていただきたいという、これだけですのでぜひ事務局さんの方で神楽さんのところと打ち合わせをしながら、東北映像研究所の阿部さんと交えて収録日とか決めていただけてなるべく数多く演目が収録できるように努めていただきたいというふうに思います。

事業計画案についてあとは何かございますか？なければ閉めるしかないのですけれども、閉めていいのでしょうか？よろしいですか。はい。

(中嶋委員)

コロナも解除されるので、今年は例祭等ほぼ通常通りできるようですか？去年までの見ていてあの4月8月10月12月、石鳩岡さんは4月撮影1回入っているんですけど4、8、10、12って撮影が入ってない部分があるんですけど、い

つもだとそこに何かしら入るのかな、入らなかったかなって今思い浮かべながら、いかがですか？

(小田拓美オブザーバー)

それは変わらないんだけど、今まだ発表するのはあれだけど本当は連休明けから2ヶ月か3ヶ月おきにその両方やる。神楽をね。つまり、これもさっぱり進まないから合わせてやろうかなというふうに本当は考えていました。追って沙汰いたしますので、よろしく。

(中嶋委員)

御沙汰を待ちながら、楽しみに。安心しました、ありがとうございます。

(中村委員長)

ということだそうですので、事務局さんの方もよろしくお願ひしたいと思ひます。なるべくそうやって撮りましようということだす。

それでは、これで報告・協議の方はよろしいでしようか？はい、それでは、その他は何かござひますでしようか？

(伊藤課長補佐)

先ほどもお話ししましたが、年度明けて5月くらいから第1回の調査委員会を予定したいと思ひますので、またよろしくお願ひいたします。

(中村委員長)

はい、事務局からは以上だそうですけれども委員さんの方から何かござひますでしようか？吉田調査官さんは何かいいですか？須川さんは？ということだ頑張っていただきたいということだす。よろしくお願ひしたいと思ひます。できるだけたくさん撮りましよう。

それでは事務局にお返ししますのでよろしくお願ひします。

(鈴森課長)

はい。本当に皆さん大変貴重なご意見ありがとうございました。中村委員長、それから吉田さん、小田さん、確かにその通りだと思ひます。やっぱりどこかで会場を設定して、そして1回撮影する機会を何回か設けないと数はこなせないのだからなっているのが、今お話し聞いていて私も納得しました。先ほどうちの課長補佐も言ひましたが、やっぱり年間の行程表、スケジュールを皆さんとご相談させてもらひながら作って、それで5月にまたこういったスケジュールで今年度いきたいというような話を皆様方にお示しできればいいのかな

というふうに思っております。ということで引き続きどうぞご協力お願いしたいと思えます。

ではこれをもちまして今年度の第1回の委員会を終了させていただきます。本日は大変貴重なご意見ありがとうございました。